

総合計画審議会部会における発言要旨整理表

◎全体

意見数13 → 中間報告掲載意見数12

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|-------------|------------|---------------------|--|------|
| (総合計画) | | | | |
| 1 | 第1回 | 地域産業 元気部会 | 総合計画について、それぞれの地域の声を聞き、地域に応じたより細かい政策を実施していくことが必要である。 | |
| 2 | 第1回 | 地域産業 元気部会 | 総合計画のアクションプランの実施主体について、どの市町村や地域と連携しているのか具体的に記載してほしい。 | 参考意見 |
| (主要施策成果説明書) | | | | |
| 3 | 第2回 | 地域産業 元気部会 | 成果説明書について、CLT工法やFSC認証材販売という分かりづらい用語については、解説を記載してほしい。 | |
| 4 | 第2回 | まなび子 育て部会 | 成果説明書について、施策事業の進捗状況が他県と比較してどうなのかということが分かるような工夫を検討されたい。 | |
| 5 | 第2回 | まなび子 育て部会 | 施策事業の成果を数値で表すときに、それがどのように県民生活に結びついているかを、県民に分かりやすい形で示してほしい。 | |
| 6 | 第2回 | まなび子 育て部会 | 計画の指標が分かりづらいので、見せ方・示し方に工夫をされたい。 | |
| 7 | 第2回 | 安全安 心・交流 基盤部会 | 成果説明書について、県のどこで何が行われているのか、どのように連携しているのかが分かりづらいので、事業の実施状況をマップで示すなど、工夫されたい。 | |
| (その他) | | | | |
| 8 | 第2回 | まなび子 育て部会 | 総合計画などに掲載されている施策事業を、もっと県民に浸透させていくことが大事である。 | |
| 9 | 第1回 | 健やか・ 快適環境 部会 | 健やか・快適環境部会は部会の中でも様々な分野があり、分野の違う委員には理解が難しく、運営が難しいのではないかと。また複数部会にまたがる分野もあるため、部会のくくりを超えて審議内容の整合性を図る必要がある。 | |
| 10 | 第1回 | 健やか・ 快適環境 部会 | ダイナミックアクションにおいて、全体的に各部局の施策が縦割りで完結しており、他部局・他部署との横の連携に加え、市町村・住民との連携が見えない。 | |
| 11 | 第1回 第2回 | 安全安 心・交流 基盤部会 | 行政特有の縦割りでなく、効率的に事業を推進するために、各部局で情報交換し、連携をしっかりとって進めてほしい。 | |
| 12 | 第1回 | 安全安 心・交流 基盤部会 | 行政で課題解決しようと思わず、情報を県民に分かりやすく周知し、地域力や住民力の活用をするような工夫をしてほしい。 | |
| 13 | 第1回 | 健やか・ 快適環境 部会 | 地方創生や富士の国やまなし国際総合戦略の取り組みについて、山梨のポテンシャルや改善点を把握するため、実際に企画提案できる人を集め、戦略を立てることが必要である。 | |

◎基幹産業発展部会の担当事項

意見数31 → 中間報告掲載意見数29

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|------------|------------|-------------|---|------|
| (成長産業への参入) | | | | |
| 1 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 燃料電池について、中小企業の期待に応えられるよう、今後の進捗を工程で示して、産業に落とし込むことが出来るようにすることが必要である。 | |
| 2 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 燃料電池について、そろそろ方向性をはっきり見極めるべきである。 | |
| 3 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 大村先生が開発した医療医薬について、山梨を第2の拠点とするなど、本県の特徴を出して企業における一人当たりの付加価値を高めていく必要がある。 | |
| 4 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 医療機器産業への参入促進について、人材を育成し、実際に医療機器開発でどういうものが生まれたなど、アウトプットを評価できるような仕組みを検討する必要がある。 | |
| (企業誘致) | | | | |
| 5 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | データセンターを県内に誘致すると、人材や周辺施設が県内に集まってくるなど大きな利点があるので、ぜひ誘致を検討してほしい。 | |
| 6 | 第1回 | 安全安心・交流基盤部会 | 人口増加のためには、中小企業でも良いので、本社または本社機能の類の移転を県外企業に呼びかけてほしい。 | |
| 7 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 企業誘致に関して、県内立地企業の県外下請け中小企業や、下請けを持たない独立系の企業を誘致するなど、ターゲットを絞って行う必要がある。 | |
| 8 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 企業誘致について、県内の既存施設や空きスペースを提供するなどして、IT産業などの県外企業に短期間の試験移転を提案したらどうか。 | |
| 9 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 特徴ある山梨らしい企業が県内に立地してきていることを、幅広くアピールしてほしい。 | |
| 10 | 第1回 第2回 | 基幹産業発展部会 | 学生が本県で就職するためには、自分のキャリアを活かした仕事に就けるかが重要であるので、もっと多彩な職種が山梨には必要である。 | |
| (その他基幹産業) | | | | |
| 11 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | 産業振興ビジョンを現状に合わせて刷新し、県民に示してほしい。 | |
| 12 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | 山梨になくてはならないものが山梨の基幹産業であるので、機械電子工業はもちろん、観光や農業分野も基幹産業として、今後重きをおいていく必要がある。 | 参考意見 |
| 13 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | 山梨の基幹産業を更に発展させていくためには、他の産業と連携し、裾野を広げて展開していくことが必要である。 | |
| 14 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | 各地域において、地域に根差した産業を基幹産業としてとらえるべきである。 | 参考意見 |
| 15 | 第2回 | 基幹産業発展部会 | 情報通信産業については、県内で必要な人材が確保できていない状況であるため、その人材確保に力を入れてほしい。 | |
| 16 | 第1回 | 基幹産業発展部会 | 国の支援を最大限活用するなどして、県工業技術センターの機能を強化することが必要である。 | |

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|--------------|------------|--------------------|---|----|
| (エネルギー) | | | | |
| 17 | 第1回 | 基幹産業 発展部会 | 電気代が安くなる「やまなしパワー」は製造業にとって大変有益であるので、もっと拡大してほしい。 | |
| 18 | 第1回 | 基幹産業 発展部会 | ペレットストーブの普及には、ペレットの品質管理、流通の仕組み、ペレットストーブの安全基準、技術者の育成などを行うことが必要である。さらに、次世代を担う子ども達がペレットストーブについてもっと知ることができるよう、働きかけをしてほしい。 | |
| 19 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 家庭における省エネの推進について、太陽光発電、エネファーム、蓄電池等を設置して補助金を受けるのは富裕層であることから、生活弱者が置き去りにされることのないようにされたい。 | |
| 20 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 新築住宅だけではなく、既存住宅におけるCO2削減の取り組みを行う必要がある。 | |
| 21 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 家庭において、電気の使用量を削減し、化石燃料から環境に優しい燃料にシフトしていけるよう県民への周知などの取り組みを行っていただきたい。 | |
| 22 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 米倉山のフライホイールの実証実験については、リニア駅にも近く、大きくアピールが出来るため、さらに取り組みを推進していただきたい。 | |
| (産業人材の育成・確保) | | | | |
| 23 | 第1回 | 基幹産業 発展部会 | 県内の中小企業が新分野へ進出できるよう、東京圏の大手企業を定年退職した優秀なエンジニアを活用した人材確保と技術力向上のための取り組みが必要である。 | |
| 24 | 第1回 | 基幹産業 発展部会 | U I J ターン就職に関する施策事業だけでなく、県内大学卒業者がそのまま県内に就職することも重点項目として取り組まれない。 | |
| 25 | 第1回 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 山梨の中小企業について、有名な企業だけでなく、あまり知られていない優良な企業の情報を学生に提供し、就職に繋げていくことが必要である。 | |
| 26 | 第1回 | まなび子 育て部会 | 県外出身学生は、現状、県内に就職するよりも地元や東京を選択している人が多い。県内の企業に就職するメリットをもっと全面的に学生たちに示してもらいたい。 | |
| 27 | 第2回 | 健やか・ 快適環境 部会 | 就業支援の中で、複数企業でインターンシップができるといった制度をつくり、企業側が採用しやすい環境を整備する必要がある。 | |
| 28 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | 60代70代の方たちの再雇用や再育成など、新たな人材育成についての取り組みが必要である。 | |
| (起業・創業) | | | | |
| 29 | 第1回 | 基幹産業 発展部会 | 山梨にも起業精神を持った人がたくさんいるので、そうした方々への支援が必要である。 | |
| 30 | 第2回 | 基幹産業 発展部会 | ソーシャルビジネスへの参入促進については、県内の学生を巻き込み、県内大学と県が連携して取り組みを進めていく必要がある。 | |
| 31 | 第1回 | まなび子 育て部会 | 県有地を利用した教育や農業などの新規ビジネスの支援を検討してほしい。 | |

◎地域産業元気部会の担任事項

意見数35 → 中間報告掲載意見数34

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|---------|-----|----------|--|-----------|
| (観光) | | | | |
| 1 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 県内には小規模な宿が多くあるが、今後オリンピック・パラリンピックで生じる需要に向け、小規模なところに対する支援が必要である。独自に魅力的な企画を発信し続けている宿もたくさんあるので、こうした宿同士を結びつけるような取り組みを、観光部や他部局が連携して行ってほしい。 | |
| 2 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 県内インバウンド観光の急成長に伴い、富士北麓地域や八ヶ岳山麓での国際会議誘致のための地域振興策を再検討すべきである。 | |
| 3 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 知事の海外トップセールスなどを通じて海外へ市場開拓を進めているが、その内容を取りまとめるとともに、産業の拡大に向けて、横の連携に加え、各業界との縦の連携も進めてもらいたい。 | |
| 4 | 第2回 | 地域産業元気部会 | おもてなしに対する考え方を統一する必要がある。 | |
| 5 | 第1回 | 地域産業元気部会 | リピーターを増やすため、公衆トイレの整備や管理を充実してほしい。 | |
| 6 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 都心からの観光客増加、移住促進、地域住民の健康増進という複合的な視点をもって観光と農業の連携を強化し、グリーンツーリズムやヘルスツーリズムに積極的に取り組んでほしい。 | |
| 7 | 第2回 | 地域産業元気部会 | ワインリゾート構想が実現出来るよう取り組みを進めてほしい。 | |
| 8 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 韓国や中国からの観光客を増加させるため、更なる広報活動や情報発信などを行う必要がある。 | |
| 9 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 海外からの観光客誘致について、富裕層をターゲットとしたPR活動を検討してほしい。 | |
| 10 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 地域限定特例通訳案内士を現実的に活用するためには、行政が必要と供給をマッチングさせる仕組みを作り、さらに、産学官のネットワーク構築に向け制度の構築を検討されたい。 | H28年度中に対応 |
| 11 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 国の制度である通訳案内士と、県の制度である地域限定特例通訳案内士を一体化し、相互協力や共同研修会の実施、ワンストップでの情報公開の方法を検討してほしい。 | |
| 12 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 県内大学において地域限定特例通訳士の養成研修のカリキュラム化を促進し、若者への広報と、研修会への参加の奨励を検討されたい。 | |
| 13 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 今後増加するインドネシア語やベトナム語のニーズに対応するため、地域限定特例通訳案内士に係る特区の再申請を検討する必要がある。 | |
| 14 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 外国人の急増に対応するには、自治体や企業、団体、教育機関と連携し、統一されたピクトグラムの整備によるユニバーサルデザインの推進が必要である。 | |
| (森林・林業) | | | | |
| 15 | 第1回 | 地域産業元気部会 | オリンピック施設に県産材が使用されるよう働きかけ、山梨の林業の活性化を図ってほしい。 | |

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|---------|-----|-------------|--|----|
| 16 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 第二次森林環境税の計画において、切り捨て間伐ではなく、きれいに整備された山林となる事業に森林環境税が利用されるよう検討してほしい。 | |
| 17 | 第2回 | 健やか・快適環境部会 | 森林環境税はとても役に立っているのです、その用途をもっと県民にPRしてほしい。 | |
| (農業・農村) | | | | |
| 18 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 山梨の地域産業として、農水産物と温泉水という他の地域では採れないものを組み合わせた地域製品の開発について研究してほしい。 | |
| 19 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 山梨は耕作放棄地が非常に多いので、農地中間管理機構と連携をして、対策を積極的に講じてほしい。 | |
| 20 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 地産地消や農産物のブランド化につなげるため、農産物生産者と消費者・宿泊施設関係者という、需要と供給のマッチングを図る場を提供してほしい。 | |
| 21 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 農業者個人で6次産業に取り組むことはハードルが高いが、地域で協力してくれる店と互いに協力をして商品開発をする仕組みを検討されたい。 | |
| 22 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 農業の6次産業化について、開発した商品の販売先の確保策を検討されたい。 | |
| 23 | 第1回 | 地域産業元気部会 | 地域普及センターは大きな役割を持っているので、地域農業の活性化につなげるためにも、職員数を増やしてほしい。 | |
| 24 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 農援隊の知名度を上げるため、積極的にPRされたい。 | |
| 25 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 女性農業者同士の交流のため、勉強会などの場を提供してほしい。 | |
| 26 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 世界農業遺産の登録に向け、着実に取り組んでほしい。 | |
| 27 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 福利厚生を目的とした企業の農園利用の促進について、情報発信を行うとともに、農業団体への積極的な働きかけを行ってほしい。 | |
| 28 | 第1回 | 安全安心・交流基盤部会 | 農作業中の安全対策を検討してほしい。 | |
| 29 | 第1回 | 安全安心・交流基盤部会 | 農作業中やタケノコ採りなどでの熊の被害が非常に多いので、鳥獣害対策を講じてほしい。 | |
| (地場産業) | | | | |
| 30 | 第2回 | 地域産業元気部会 | 国内で作っているジュエリー製品の3分の1以上は山梨産であると考えている。県内外にこのことをPRしてほしい。 | |
| 31 | 第2回 | 地域産業元気部会 | マレーシアのショップにジュエリーが置けるよう検討してほしい。 | |

| No | 発言回 | 部会名 | 委員意見 | 区分 |
|-------|-----|--------------|---|----|
| 32 | 第1回 | 地域産業 元気部会 | 織物産業は、ひとつひとつは小さな工業であるが、年々、県外からのデザイナー志望者や機織職員志望者が移住してきているので、織物産業について引き続き支援をしてほしい。特に、織物準備工程の中の燃糸工程を担う業者がなくならないよう、支援を含めた対応策を検討してほしい。 | |
| 33 | 第2回 | 地域産業 元気部会 | 織物産業の活性化について、海外での販路開拓事業の成果が見え始めてきているところであるため、継続した支援をしてほしい。 | |
| (その他) | | | | |
| 34 | 第1回 | 地域産業 元気部会 | 甲府城南側エリアの整備計画の策定に当たっては、民間企業との連携や、民有地の積極的な活用について検討してほしい。 | |
| 35 | 第2回 | 地域産業 元気部会 | 農業やジュエリー、観光、織物など各分野の将来展望を見据え、現在実施していることと今後必要なことを整理する必要がある。さらに、置かれている状況が県内各地域で異なるため、それぞれの地域を元気にするための特色ある産業を今後どのようにしていくかを示す必要がある。 | |